

[28_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470260>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 28 (1), 1995-03. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

編集後記

先日、とある飲み屋さんで、数人の酔っ払いが大きな声で天下国家を論じていました。酔っ払いのことですから、気分はすっかり大蔵大臣や法務大臣はたまた総理大臣で、予算の使い方から死刑廃止まで、もう何でもかんでも言いたい放題です。

すると、横に座っていた身なりのいい紳士がこう切り出しました。「いやあ、いいお話を聞きました。今度ライオンズクラブの会合で講演しなくてはいけないので、この話をさせてもらおうと思います。」

あちゃー。ただの酔っ払いのたわごとだったんだけどなあ...

*

*

*

「九州大学大型計算機センター広報」は今号から A4 版となり、表紙のデザインも一新されました。今回からの表紙は、私の次に登場する「赤の N. Y.」君が Macintosh を駆使し、莫大な自己資金と労力を投入した力作です。

「過激派のピラミタ」などとも言われていた以前の表紙に愛着を感じておられた方も多いでしょうが、どうか「新装開店」となったセンター広報もぜひご愛読(?) ください。

(謎の公務員 A)

うーむ。“莫大な自己資金と労力を投入した”(「謎の公務員 A」参照) わりにはシンプルな表紙になってしまいました。頭の中ではこれもしたいあれもしたいといろいろ考えていたのですが、結局は 3D モデリングツールと画像加工ソフトに振り回されてしまいました。やっぱりこの世界は底無しの世界ですね。危うく我を失うところでした。

一応、使用した道具はというと、

ハードウェア	: Apple	Power Macintosh 6100/60AV
画像加工ソフト	: adobe	Photoshop
3DCG ソフト	: Fortune Hill	Ray Dream Designer

といったところです。

最近、個人でも雑誌の表紙並の絵を作ることができます。背景などの素材となる写真もフリーライセンスで売ってますし、上記のシステムでも 60 万円程度で揃えることができます。ただし、私の場合メモリーが圧倒的に足りなかったのが (16MB)、ハードディスク (270MB) をバーチャルメモリーとして使っていました。そのため、画像のある領域を移動するという単純な処理だけでコーヒータムになりました。

後は努力と根性! 仕事そっちのけで取り組みればあなたも立派な CG デザイナー。……いや、仕事はちゃんとやっていたです、はい。

センターには、フルカラー PS プリンターがありますので (宣伝宣伝♪)、Photoshop 等で加工した PS 画像をどんどん出力してみてください。

“なんびとたりとも……” の (赤の N. Y.)